

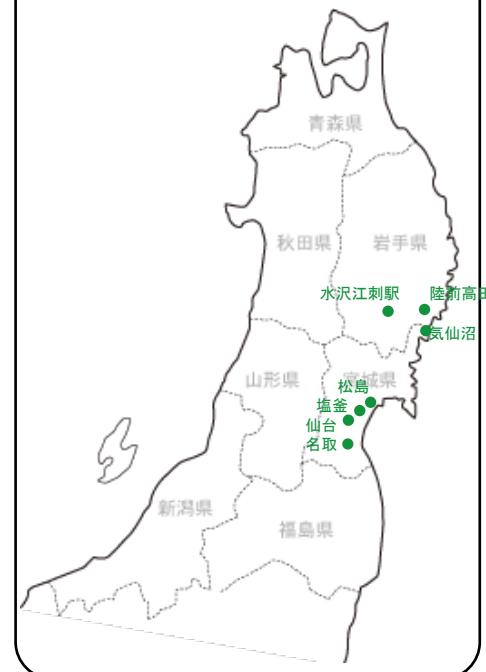
東北教育旅行プログラム（岩手・名取）活用コース

～岩手・宮城の震災・防災・減災学習を深く学ぶ～

日次	行程				宿泊	
1	10:30 各地□■□■ 水沢江刺駅	12:00 = (90分) = = 陸前高田(震災・減災・防災プログラム)	16:30 ※下記①参照	17:00 = = (30分) = = 気仙沼	宮城県 気仙沼	
2	8:30 気仙沼	10:30 = = (120分) = = 松島町内（班別研修）	15:00 ～～～～震災語り部クルーズ～～～～～	16:00 ～～～～～塩釜港	17:00 = = (50分) = = 仙台	宮城県 仙台
3	8:30 仙台	9:10 = = (40分) = = 名取(震災・減災・防災プログラム)	14:00 ※下記②参照	14:40 = = (40分) = = 仙台駅□■□■ 各地		

(凡例) ··· : 徒歩 ■□■□ : JR = = = : バス ~~~~ : 船舶 - - - : 航空機

東北ルートマップ



① 「陸前高田プログラム」



道の駅「高田松原」で「東日本大震災津波伝承館」と「高田松原津波復興祈念公園（奇跡の一本松などの震災遺構多数）」を見学することで、津波の実態を体感できます。また当時の街並みや津波発生時の避難状況などを知ることができます。またパークガイドを活用することで、震災の発生から今日に至るまでの復興の歩みについて、地元の体験者からお話を聞くことで、より深い震災学習に繋がります。

② 「名取プログラム」



閑上地区はまだ復興途中です。この地域では震災後、たくさんの事業者が仕事を“マイナス”からスタートし現在ここまで復興することができました。その復興への体験や、東日本大震災での教訓について、地元の人から直接お話を伺うことができます。また、それら地場の産業を担う人の先輩から話を伺う事により、生徒さんの「生きる力」や「キャリア教育」に繋がります。復興に向けて強い“レジリエンス”を実施している現状を学ぶことができます。（例）佐々木酒造店・ゆりあげ港協同組合、カーネーション農家、水産加工業、かわまちでらす閑上など